

北海道高等学校文化連盟 70 周年記念大会
第 23 回全道高等学校ボランティア研究大会
分科会のご案内

番号	分科会名	内 容	定員
①	第 1 分科会	「絵本を読みあう～この本をあの人に～」 講師：帯広市図書館 司書 青木 景子 氏 同行者でない人と 2 人 1 組になって、お互いに、相手のために絵本を選び読み合います。自分ではない他者を思いやる心はボランティアに携わるうえで、欠かすことのできない大切な要素です。絵本を読み合うという行為を通じて、相手への気遣いや思いやりの精神を身に付けましょう。 会場：とかちプラザ 2 階視聴覚室	30
		「発生災害時にどう行動すればよいか～避難所運営ゲームを体験してみよう！～」 講師：帯広市役所総務部危機対策課 西澤 晶英 氏 災害が発生すると様々な人が避難所にやってきます。様々な人が一定期間共同生活をするようになるので様々なことが起こります。避難所運営ゲームを通して避難所で起こる様々なことを疑似体験してください。支援が必要な方にはどのように支援や配慮をすればいいのか、そして、自分は何ができるのかをいっしょに考えてみましょう。 会場：とかちプラザ 1 階大集合室	
②	第 2 分科会	「発生災害時にどう行動すればよいか～避難所運営ゲームを体験してみよう！～」 講師：帯広市役所総務部危機対策課 西澤 晶英 氏 災害が発生すると様々な人が避難所にやってきます。様々な人が一定期間共同生活をするようになるので様々なことが起こります。避難所運営ゲームを通して避難所で起こる様々なことを疑似体験してください。支援が必要な方にはどのように支援や配慮をすればいいのか、そして、自分は何ができるのかをいっしょに考えてみましょう。 会場：とかちプラザ 1 階大集合室	80
		「車いす体験（視覚障がい体験）」 講師：芽室町社会福祉協議会 株式会社マルベリー 利用する機会のない車いすを実際に操作してコースやスロープを通ってみます。また、白杖を用いた視覚障がい体験では、見えないことによる怖さや不便さを理解することができます。どちらも体験することによって支援のポイントなどを知ることができます。 会場：とかちプラザ 1 階ギャラリー	
③	第 3 分科会	「車いす体験（視覚障がい体験）」 講師：芽室町社会福祉協議会 株式会社マルベリー 利用する機会のない車いすを実際に操作してコースやスロープを通ってみます。また、白杖を用いた視覚障がい体験では、見えないことによる怖さや不便さを理解することができます。どちらも体験することによって支援のポイントなどを知ることができます。 会場：とかちプラザ 1 階ギャラリー	30
		「地域の一員としてできることを考えてみよう」 講師：本別町社会福祉協議会 どの町にもある社会福祉協議会。本別町社会福祉協議会を紹介し、レクリエーション体験をします。より良い地域福祉の実現に向けて、みんなで地域の一員としてできることを考えてみよう！ 会場：とかちプラザ 3 階 304	
④	第 4 分科会	「地域の一員としてできることを考えてみよう」 講師：本別町社会福祉協議会 どの町にもある社会福祉協議会。本別町社会福祉協議会を紹介し、レクリエーション体験をします。より良い地域福祉の実現に向けて、みんなで地域の一員としてできることを考えてみよう！ 会場：とかちプラザ 3 階 304	40
		「防災食を作ってみよう」 講師：北海道立青少年活動支援施設ネイパル足寄 ネイパル足寄職員と一緒に、災害時に役立つ「防災食」を実際に作ってみませんか？電気が使えない時などの工夫を体験しながら、おいしく楽しく防災の知識を深めましょう。食事作りをとおして、いざという時のための「備えの大切さ」をみんなで一緒に学びます。 会場：とかちプラザ 4 階調理室 持ち物：筆記用具、エプロン、三角巾	
⑤	第 5 分科会	「防災食を作ってみよう」 講師：北海道立青少年活動支援施設ネイパル足寄 ネイパル足寄職員と一緒に、災害時に役立つ「防災食」を実際に作ってみませんか？電気が使えない時などの工夫を体験しながら、おいしく楽しく防災の知識を深めましょう。食事作りをとおして、いざという時のための「備えの大切さ」をみんなで一緒に学びます。 会場：とかちプラザ 4 階調理室 持ち物：筆記用具、エプロン、三角巾	20
		「防災食を作ってみよう」 講師：北海道立青少年活動支援施設ネイパル足寄 ネイパル足寄職員と一緒に、災害時に役立つ「防災食」を実際に作ってみませんか？電気が使えない時などの工夫を体験しながら、おいしく楽しく防災の知識を深めましょう。食事作りをとおして、いざという時のための「備えの大切さ」をみんなで一緒に学びます。 会場：とかちプラザ 4 階調理室 持ち物：筆記用具、エプロン、三角巾	

⑥	第6分科会	「話しやすい場ってどうつくる？～ファシリテーションを体験してみよう～」 講師：芽室町市民ファシリテーター育成講座実行委員会	40
		話し合いの場の中で、「なかなか意見が出ない」「なんとなく話しづらい」と感じたことはありませんか。この分科会では、高校生だけの話し合いと、市民ファシリテーターが入った話し合いの両方を体験します。グランドルールやアイスブレイク、「問い」の工夫によって、話しやすさがどう変わるのかを比べてみましょう。学校生活やボランティア活動にも生かせる「話しやすい場づくり」のヒントを一緒に学びます。	
		会場：とかちプラザ4階403 持ち物：筆記用具	
⑦	第7分科会	「木と生きる、木からつくる～木工作家と考えるモノづくり～」 講師：木工作家 橋本 佳裕 氏 (KOYAKE)	20
		娘さんのままごとキッチンで DIY したことをきっかけに木工と出会い、現在は十勝を拠点に活動している橋本さん。この分科会では、実際に木に触れながらスプーンづくりを体験し、後半には橋本さんが木工作家になるまでの歩みや、木・モノづくりへの思いを聞きます。「好きなこと」や「自分らしさ」を仕事や地域につなげていく生き方について、一緒に考えてみませんか。※参加費 500 円	
		会場：とかちプラザ地下アートプラザ 持ち物：筆記用具	
⑧	第8分科会	「認知症介護について」 講師：認知症対応型通所介護 Story 代表 清野 紀子 氏	40
		本分科会では、「認知症介護について」をテーマに、参加者の皆さんが身近な問題として認知症を考えることを目的としています。当日は、認知症対応型通所介護 Story 代表の清野紀子氏を講師にお迎えし、介護の現場での実体験をもとに、認知症のある方の思いや、関わる際に大切な視点についてお話しいたします。講演だけでなく、ワークショップを取り入れ、参加者同士で意見を交わしたり、考えを深めたりしながら学ぶ参加型の内容を予定しています。	
		会場：とかちプラザ3階306	
⑨	第9分科会	「防災についての知識を身につけ、意識を高める」 講師：自衛隊	40
		本分科会では、「防災についての知識を身につけ、意識を高める」ことを目的に、高校生が主体的に学ぶ参加型の防災講座を実施します。 当日は自衛隊の方々を講師にお迎えし、災害派遣などの実体験をもとに、災害時に必要な行動や心構えについてお話しいたします。	
		会場：とかちプラザ3階307	
⑩	第10分科会	「アイスブレイクゲームをマスターしよう」 講師：北海道立青少年活動支援施設ネイパル足寄	80
		アイスブレイクゲームを3種類覚えて、実際にマスターし自分の地域に戻って実践できるようにしよう。少なくとも3種類のアイスブレイクゲームを用意しているので、体を動かしながら交流できる分科会となります。楽しく覚えて実践できることを目指しましょう！	
		会場：とかちプラザ5階軽運動室 持ち物：運動靴	

⑪	第 11 分科会	「2030SDGsカードゲーム」 講師：十勝SDGs実践委員会	40
		SDGsって何？なぜSDGsが必要なの？どうしてこんなに注目を集めているの？といったことをお伝えしながら、壮大で意欲的な目標であるSDGsを、カードゲームを活用しながら楽しみ、SDGsの世界を体験してみましょう。 会場：とかちプラザ4階401	
⑫	第 12 分科会	「点字やテキストデイジー製作を体験してみよう」 講師：社会福祉法人北海点字図書館 館長 後藤 奈保美 氏	20
		視覚障害書を理解し、その方々のサポートボランティアを実際に点字で名刺を作成したり、文字や動画をみながら合成音声で読み上げ聞くための電子書籍作成してみよう。 会場：とかちプラザ4階402	

※ 分科会の定員数は、変更になる場合があります